

【3-2】日常生活支え合い実践事業

憩いの場所づくり (小浜市)

基礎情報

実施地域 小浜市遠敷地区
実施主体 小浜市
所在地 小浜市遠敷4丁目117
代表者 小浜市長 松崎 晃治



平成23年度の事業概要

小浜市内の遠敷地区にある憩いの家「やすらぎ荘」の一部を改修し備品を設置することにより、高齢者が、季節を問わず集まれる居場所づくりを行う。

- ・入口の階段に手すりを設置し足腰の悪い高齢者でも利用できるようにする。
- ・和室にエアコンを設置し一年を通し、利用できるようにする。

現在の活動状況

地域住民に施設の無料開放を行っている。

(概要)

月曜日から土曜日の午後1時から4時まで開放し誰でも自由に入出入りができる。
お茶等を飲みながら気軽にくつろぐことが出来る。

(維持管理)

鍵の管理は地元任せ責任者が鍵の開け閉めを行う。

(利用状況)

1日10～20名程度の利用がある。
利用のほとんどは65歳以上の男女

事業の実績、成果

1日、10～20名程度の利用がある。
女性が多く利用していたが利用者の口コミのより男性の参加もみられるようになった。
年齢層も広くなり80代の高齢者も利用するようになり、認知症の予防や、引きこもり防止につながっている。

工夫した点

決まった企画はおこなわず、どの年齢のかたでも集まりおしゃべりを楽しむことが出来る場所にしている。

足の悪い方でもイスに座りおしゃべりが楽しめるようにしている。



課題

一部の人に限らず、多くの住民に憩いの場所について知らせる。

事業の財源

平成23年度地域支え合い事業補助金で出入り口の階段手すりや和室にエアコンを設置。

その後の居場所づくりの運営については市の一般財源。

今後の目標

住民の多くに気軽に立ち寄れる憩いの場所を知らせるため地区での世代間交流行事を企画していく。

団体からのメッセージ

地区の皆さんが集まりワイワイとおしゃべり、お茶等を飲みながら楽しい時間を過ごしています。

近所の人を誘って覗いてみてください。